

細菌性髄膜炎にかからないために！！

～ 予防ワクチン アクトヒブについて～

薬剤科

1 髄膜炎とは？

脳を保護している髄膜と呼ばれる部分の炎症で発熱・けいれん・意識障害等の症状を示す重篤な病気で、おもに **5歳以下** で好発します。

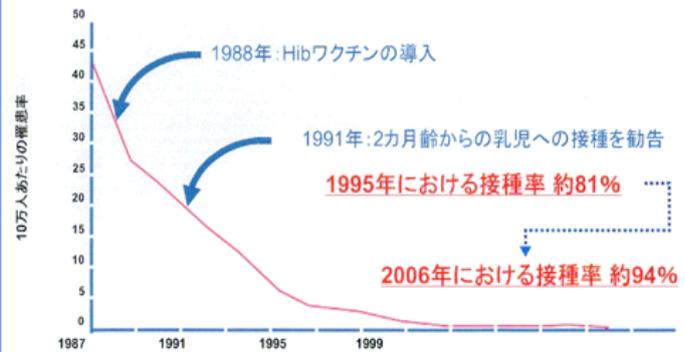
髄膜炎は細菌性髄膜炎と無細菌性髄膜炎に分けられ、細菌性髄膜炎の原因菌には様々ありますが約6割が Hib によるものであるといわれています。

Hib とはヘモフィルス・インフルエンザ b 型菌の略称です。(一般的に知られているインフルエンザの原因とは違います。)

Hib に感染した場合、抗生物質で治療しますが、抗生物質が効かなくなる菌が作られるなどの理由で効果が得られないことも多くワクチン(アクトヒブ)を接種するのが一番効果的だと言われています。



1987～2000年、米国の5歳未満の乳幼児における侵襲性Hib疾患の罹患率



このようにアメリカでもワクチンの導入により Hib の罹患率(病にかかる割合)が大きく減少しています。導入前は人口10万人に対し、20人以上が罹患していましたが、導入により減少し、現在は**ほぼ0人**になっています。また、日本でも平成20年の12月より発売され接種の開始により髄膜炎にかかる子供の数の減少が期待できるという報告があります。

(2) ワクチンの接種について

ワクチンの接種スケジュールは**接種開始年齢によって異なります。**

2ヶ月以上7ヶ月未満の場合

➡ 4～8週の間隔をおいて**3回**予防接種を行います。
さらに、**約1年後**に追加で1回接種します。

7ヶ月以上1歳未満の場合

➡ 4～8週の間隔をおいて**2回**予防接種を行います。
さらに、**約1年後**に追加で1回接種します。

1歳以上5歳未満の場合

➡ **1度だけ**接種します。

(3) 料金について

アクトヒブは任意の予防接種なので保険は効かず
自費になり二戸病院では **1回あたり**

3歳未満 → 10,320円

3歳以上5歳未満 → 8,950円



全国には助成金がある都市もありますが、岩手県ではまだ野田村でしか行われておりません(H22.12現在)

アクトヒブの接種で細菌性髄膜炎が**100%予防できるわけではありません**が、接種により細菌性髄膜炎にかかっても軽症で済んでいるという報告もあるので、**5歳以下のお子さんのいる家族ではぜひ接種をお勧めします。**